

【トピックス】

● TOKYO テレワーク・モデルオフィスを多摩地域に開設：東京都

東京都は7月20日、多摩地域3か所（府中、東久留米、国立）に「TOKYO テレワーク・モデルオフィス」を開設した。自宅以外の場所でもテレワークを行うことができる環境の整備を進めるため、民間のサテライトオフィスの設置が少ない多摩地域に、モデル的にサテライトオフィスを設置するもの。営業時間は平日の9時00分～19時00分。利用対象は都内在住または在勤で、企業等で働く人（個人事業主を含む）。なお、利用には、事前登録および利用予約が必要。

[報道発表資料：東京都](#)

● 複数拠点生活、介護など消極的な理由も：FRK

不動産流通経営協会（FRK）は7月20日、「複数拠点生活に関する基礎調査」の結果を発表した。調査は、複数拠点居住を実施している人と、その意向がある人を対象としたアンケートにより実施された。全国の20～79歳の男女を対象にスクリーニング調査の上、分析対象者5,200サンプルを抽出した。

複数拠点の実施目的について、意向者は「自分の時間を過ごす」「避暑・避寒・癒やし・くつろぎ」など積極的な理由が多い一方で、実施者の場合は「転勤・単身赴任」「介護」など消極的な理由も多く、実際には様々な理由・目的から複数拠点生活が行われていることがわかった。

[複数拠点生活に関する基礎調査（概要版）：不動産流通経営協会](#)

● 2020年上半期のホテルの倒産、既に前年件数を上回る：帝国データバンク

帝国データバンクが7月17日に発表した「旅館・ホテル・簡易宿所の倒産動向調査（2020年上半期）」によると、2020年上半期の旅館・ホテル・簡易宿所の倒産件数は80件発生し、すでに前年（72件）を上回るペースで推移している。80件のうち新型コロナウイルス関連倒産が37件となり、全体の46.3%を占めた。業態別にみると「旅館・ホテル」（73件）が最多。負債額別にみると「1億円～5億円未満」（27件）が最多となり、構成比33.8%を占めた。負債額上位企業10社のうち、7社が新型コロナウイルス関連倒産となった。

[旅館・ホテル・簡易宿所の倒産動向調査（2020年上半期）：帝国データバンク](#)

● スタートアップ・エコシステム拠点都市を選定：内閣府

内閣府は7月14日、「Beyond Limits. Unlock Our Potential.世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略」に係るスタートアップ・エコシステム拠点都市の選定結果をほぼ発表した。文部科学省、経済産業省及び各関係省庁と連携し、スタートアップや支援者の一定の集積と潜在力を有する都市において、地方自治体、大学、民間組織等が策定した拠点形成計画を認定するもの。選ばれた都市に対して、国の補助事業、海外展開支援、規制緩和等を実施する。

【グローバル拠点都市】

○スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアム

○Central Japan Startup Ecosystem Consortium

○大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム

○福岡スタートアップ・コンソーシアム

【推進拠点都市】

○札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会

○仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会

○広島地域イノベーション戦略推進会議

○北九州市 SDGs スタートアップエコシステムコンソーシアム

[新着情報：内閣府](#)